

海外安全対策情報（平成27年度第1四半期）

1 社会・治安情勢

（1）テロ関連動向

インドネシア国内においては、警察によるテロリストの摘発が引き続き行われているほか、インドネシア人のISIL支援者が増加しているとされており、当局によるISIL支援者への監視や取締りが強化されています。

当地においては、具体的なテロの情報はありませんが、ラマダン期間中は過去にも爆弾テロが発生し、テロの脅威が高まるとの見方もあることから、引き続きテロ関係情報には御注意下さい。

（2）麻薬・薬物への注意

インドネシア当局は、引き続き薬物犯罪の摘発を強化しており、バリにおいても逮捕事案が続いています。インドネシア当局は外国人に対しても死刑を含む重い判決を下しており、薬物犯罪に対し厳しい姿勢で臨んでいます。薬物には絶対に関与しないようにして下さい。また、薬物が使用されているような危険な場所には近寄らないようにしてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪傾向

観光客が多く集まるクタ・レギャン地区を中心に、外国人旅行者を狙ったと見られる「ひったくり」「スリ」といった盗難被害が引き続き発生しています。

特に、深夜・早朝時間帯には、レギャン通り（爆弾テロ追悼モニュメント近く）のナイトクラブから徒歩でホテルへ帰る旅行者（グループ、カップル、男女を問わず）が、集団の犯人に取り囲まれて話をしている隙に、ひったくりやスリに遭う盗難被害が継続して発生しています。

また、上記エリア以外でもバイク使用の犯人によるひったくりが頻発しています。

その他、レストランやホテルロビーなどでの混雑する場所での置き引き被害の発生も見られます。

（2）邦人被害事案

邦人の事件・事故について当館へ報告された事案は以下のとおりです。

ア レギャン通りで、ひったくりやスリに遭った被害

日付	時間	被害種別	犯人	被害者・参考事項
5月8日	午前2時00分	スリ	集団	男女カップル、ナイトクラブ帰り

6月3日	午前4時00分	スリ	集団	女性2人、ナイトクラブ前路上
------	---------	----	----	----------------

※ 当館で詳細が確認できた被害のみ記載

イ ひったくり被害（前記以外）

- ① 4月18日、ウブドをバイクで走行中、後方より進行してきたオートバイに乗車した男に鞆をひったくられた。
- ② 5月8日夜、クタ地区で、一人で歩いていた旅行者が、オートバイに乗車した男に鞆をひったくられた。
- ③ 6月8日夜、スミニャックで、ホテルへ戻る途中の旅行者が、オートバイに乗車した男にハンドバッグをひったくられた。
- ④ 6月25日昼、スミニャックにおいて中央分離帯で道路を横断する機会を覗いていたところ、バイクに乗車した男にセカンドバッグをひったくられた。
- ⑤ 6月27日夜、クタ地区でホテルへの一人で歩いていた旅行者が、オートバイに乗車した男に鞆をひったくられた。

ウ 空き巣被害

- ① 6月3日午前中、デンパサール所在の一軒家で、外出中に家屋内に侵入されパソコン・タブレット等が盗まれた。
- ②（居空き）6月10日夜、スカワティ所在の一軒家で、家人が2階に在宅中、1階の部屋が物色され、現金、運転免許証、クレジットカード等在中のバッグが盗まれた（後日、被疑者検挙）。

エ その他被害

- ① 6月10日午前、ジンバルンの銀行駐車場に駐車中（無施錠）の車内から、バッグが盗まれた。
- ② 6月15日夜、クタ地区所在のレストランで食事中、会話に夢中になっていた際に座席に置いておいたバッグが盗まれた。
- ③ 6月18日早朝、クタ地区所在の宿泊先において就寝中、室内に侵入され、現金、タブレット等が盗まれた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロに関連した事件は発生していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件は発生していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は発生していません。

以上